

伝統と文化を大切にし 活力と活気にあふれ 人と人が絆で結ばれた まちづくり

第2期(2024年～2029年)

宮校区コミュニティプラン

【地域振興計画】

(桜通りの写真)

宮校区コミュニティ協議会

所在地 〒891-1305

鹿児島市宮之浦町932-1

電話番号 080-9054-7168

目次

1	会長あいさつ コミュニティプランによせて	1
2	(1)校区のすがた 地図	2
	(2)校区の歩み	3
	(3)校区のすがた	4
3	(1) 校区の特色ある史跡・施設 地図	5
	(2) 校区の特色ある史跡・施設	6
4	校区コミュニティ協議会の目標と運営方針	10
5	校区コミュニティ協議会の組織体系	11
6	校区コミュニティ協議会及び構成団体の現在の活動	12
7	各部会から見た課題	15
8	校区コミュニティプラン	16
9	資料	19
	プラン策定の経緯・プラン策定委員名簿	

コミュニティプランによせて

私たちの宮校区は、鹿児島市北部に位置し、中心を楢木川が流れる山間の自然豊かな校区です。校区内には九州自動車縦貫道の薩摩吉田インターがあり鹿児島市の交通の要衝として、重要な役割を果たしています。また、県立青少年研修センター・県総合教育センター・ゴルフ場などが有り、県内各地から人の訪れる地でもあります。

地域住民は昔から宮校区を大切にし、地域に誇りと強い愛着を持っており、宮小学校の行事や取り組みにも積極的に協力・参加しています。地域住民同士の交流も盛んで8集落の公民館とコミュニティ協議会が一緒になり住みよい地域づくりに努めています。

しかし近年、少子高齢化や核家族化、若者の都市部での就職などに伴う住民構成の変化、高度情報化やグローバル化による、ライフスタイルや価値観の変化などにより、これまで培ってきた「宮の良さ」である「地域を愛し、協力してより良い地域を作っていこう」とする意識が薄れてきている様にも感じられます。

また交通量の急激な増加に伴い交通事故の防止や防犯、また児童生徒の健全育成等さらに力を注ぐ必要があります。

そして今後も更に地域の防災や高齢者の見守り、子育てといった課題等住民みんなで考え、地域一体となって取り組んでいきたいと思えます。

宮校区まちづくりの目標（スローガン）

「伝統と文化を大切にし 活力と活気にあふれ
人と人が絆で結ばれた まちづくり」

を目ざしてコミュニティプランを作成いたしました。

令和5年12月1日

宮校区コミュニティ協議会 会長 米留 健一

2-1(1)宮校区のすがた 地図



2-(2) 校区の歩み

明治	12年	宮小学校 創立	58年	吉田南幼稚園創立	
	31年	尋常科認可		宮小体育館竣工	
大正	11年	北薩電気営業開始	59年	吉田町運動公園造成完了	
	15年	役場庁舎新築	63年	吉田町立牟礼岡小学校創立	
昭和	1年	村内バス運行	平成	2年	牟礼が岡保育園開園 第1回よしだふるさと祭り
	2年	高等科設置 吉田郵便局業務開始	4年	宮小新校舎完成(現)	
	10年	吉田青年学校発足	9年	吉田南中 50周年	
	11年	役場に電話開通	11年	宮小 120周年	
	16年	宮国民学校と改称	12年	県青少年研修センター30周年	
	22年	宮小学校と改称 吉田南中学校創立	14年	輝楽里よしだ館落成 桜を植樹し桜通り完成	
	23年	蒲生高校吉田教場認可	16年	鹿児島市と合併	
	26年	宮小3教室新築	17年	合併記念おはら祭に女性部参加 宮校区社会福祉協議会設立	
	27年	宮小校門道路完成 吉田南中学校本校舎完成 宮教場より移転	18年	宮校区成人・女性学級開講 宮校区子育てサロン開始	
	31年	蒲生高校吉田分校と改称	19年	倉谷グラウンドゴルフ場完成	
	32年	南日本ドッグセンター開設 (現 新日本科学)	21年	宮小 130周年 県小学生タグラグビー優勝	
	34年	学校給食(3日制)開始	22年	小学生タグラグビー 九州大会ベスト8 プール改修工事完成	
	39年	学校給食(5日制)開始 鉄筋3階校舎完成 (屋内体育館併設) 宮之浦地区簡易水道開始	23年	児童クラブ開設	
	44年	県総合教育センター完成	29年	宮校区コミュニティ協議会設立 宮之浦市営住宅完成	
	45年	県青少年研修センター	30年	宮校区コミュニティ協議会 第1期コミュニティプラン策定	
	48年	高速道路吉田加治木間完成			
	49年	宮小プール竣工	令和	元年	宮小 140周年 140周年マラソンリレー開催 宮小マスコット誕生 平山陽一さんデザイン
	50年	宮之浦保育所開所	4年	宮小読書活動で文部科学大臣賞 みんなニコニコあいさつ運動	
	52年	高速道路吉田鹿児島間完成	5年	子ども食堂『宮っ子』開店	
	53年	島津ゴルフ開場	6年	第2期コミュニティプラン策定	
	54年	宮小 100周年			
	56年	蒲生吉田分校募集停止			

2-(3) 校区のすがた

吉田インターの周りに広がる宮校区は、鹿児島市街地にも近く、高速を使えばとても便利なところにあり、また、田んぼや畑も多く自然豊かな所である。県道 25 号線・県道 16 号線共に通勤通学時には大変、車の通行量が多くまた、宮校区近くに南国バスの駐車場ができ 50 台のバスが利用している事や、新日本科学にも通勤の時は、600 台ほどの車が倉谷を通行し、来年本社ビルが建てば 200 台程の車が増えることになり、交通事故の多発が心配される。また、本地域も高齢化と少子化が益々進み、65 歳以上が 31.6%を占め、15 歳以下は 9%しかいない。この数値は 2021 年 10 月現在のものであり、益々進んでいると思われる。

宮校区の中心である宮小学校は、特認校になった事や市営住宅が完成した事により平成 30 年から増加傾向にあり校区にも活気が出てきたように感じる。地域と PTA 一体になり活動を進めている。その一つは、年 3 回行っている桜通りと宮コミュニティセンターの草払いであり、地域と PTA の参加者が 60 名を超え、地域を愛する気持ちを育くむ一つになっていると思われる。

(1) 宮小学校児童数の推移

年度	平 1	平 10	平 20	平 25	平 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5
児童数	154	106	53	53	75	80	89	90	95	92

(2) 公民館加入世帯の推移

宮之浦町は、総人口 1662 人（男性 779 人、女性が 883 人）、総世帯数は 729 世帯が暮らしている。

公民館加入世帯数は、令和になって、年々減少している。その要因として、公民館を脱退する世帯がある事と、自然減にある。世帯が高齢化し一人暮らしが増加し、その方が無くなると世帯もなくなる。これからますます自然減が増加すると思われる。

公民館名	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
吉水公民館	118	121	122	125	117	113	111
宮西公民館	86	89	88	87	83	83	83
宮東公民館	41	41	41	41	39	39	36
倉谷公民館	42	43	43	38	38	38	36
牟礼谷公民館	24	23	21	20	17	16	14
前迫団地	16	16	16	16	16	16	15
平野公民館	11	10	10	10	10	10	9
上河原公民館	9	8	8	8	6	6	6
合計	347	351	349	345	326	321	310

3 宮校区の史跡・施設 地図



3 校区の史跡・施設

1. 牟礼谷の牧神様

牟礼岡の山頂にある「巨巖」「牟礼大明神」「馬頭観音」の三者を一緒にして「牧神様」（まっがんさあ）と呼んでいる。同神社の祭り神は「猿田彦大神」（交通安全、厄徐開運）と「保食神」（五穀豊穡を願い衣食住の守護神）。毎年4月の日曜日に牟礼谷公民館が祭りをを行っている。

（写真左）牟礼大明神・（写真中）三十三夜待石祠・（写真右）馬頭観音



2. 東目筋

関屋谷（昔、関所があった）より
白銀坂に続く旧街道



4. 赤崩山



5. 東目筋岩木橋

関屋谷の奥にあり吉野界にある橋



6. 馬頭観音と火の神（牟礼谷前田カ宅内）

馬頭観音は石祠天明2年、前田文左卫門とあり、火の神は自然石



7. 鷺ノ巣城跡(馬場園の丘)に登る道



8. 薩摩吉田インター



9. 宮之浦八幡神社



10. 宮之浦神社石塔 (1)

鳥居に向かって左側



10. 宮之浦神社石塔 (2)

鳥居に向かって右側



11. 宮之浦三重石塔

1800年頃盛んだった康申講の供養塔であると推定される。「ガラッパどんの墓」とも言われ



12. 宮小学校



13. 鬼子母神社(鎮守神社・子持神社) 吉水公民館が管理を行っている。



14. 鬼子母神社馬頭観音 馬頭観音は馬上刀交差像で、天保6年奉像立



15. 鬼子母神社石燈籠 明治33年建立の鳥居、石祠あり



16. 阿弥陀堂と田之神

木造りの社の中に、田の神石像と彫の浅い地藏菩薩像が祀られている。



17. 吉水水源地水道記念碑(昭和34年10月)



17. 吉水水源地(いけんこ)

水質の優れた水源地で、野菜を洗ったりスイカを冷やしたりと地域の生活に欠かせない水源地である。



17. 宿待二十三夜碑・

吉水水源地の奥にある
供養石殿・首のとれた仏像



18. 馬頭観音石祠

石祠の中に像あり、宝暦
9年



19. 山神石祠(おねっの神)

百日咳の神と言われお参りする
時は、火吹き竹を奉納した。両
側に寄進燈あり。



20. 倉谷水源地

(通称いがわんもとん)



21. 井戸(トントンの川)



23. 赤滝

三方を山に囲まれ椎・
檜・松・杉の大木が聳え
る谷にある。高さ20m



22. 新日本科学

昭和32年南日本ドッグ
センター。49年に現在の
社名に変更。令和6年
本社ビル完成予定



4 校区コミュニティ協議会の目標と運営方針

1 名称

宮校区コミュニティ協議会

2 目的

協議会は、宮小学校区（以下「校区」という）における身近な課題の解決や、地域資源を生かした活動など地域主体のまちづくりに取り組み、連帯感と活力に満ちあふれた地域社会づくりに資することを目的とする。

3 構成団体

協議会は、校区内の公民館のほか、校区内に居住する個人及び法人その他の団体で、協議会設立に賛同するもの（以下「構成団体」という）で組織する。

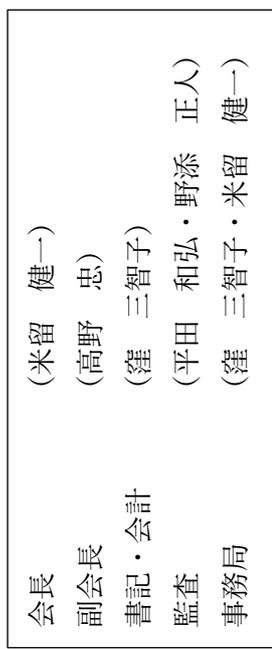
4 まちづくりの目標（スローガン）

伝統と文化を大切にし 活力と活気にあふれ 人と人が絆で結ばれた まちづくり

5 運営方針

- (1) 校区住民が地域の特性を生かし、親和と協力の連帯意識をもって、校区の発展と生活環境の充実に図り、校区民総参加による、住民が主体となった潤いと活力ある住みよいまちづくりを推進する。
- (2) 子供たちをはじめ、住民全員が夢や希望を持ち、共にあいさつを交わし助け合いながら、明るく楽しく生活し続けることができる個性豊かなまちづくりを進める。
- (3) 校区住民の声（思いや願い、よさや課題）を大切にされた地域コミュニティプランをもとに、自助・共助による実現を目指すとともに、関係機関との連携による活動（公助）の充実に努める。
- (4) 校区住民の総意として創る地域コミュニティプランを基本に、役割を分担し、専門部会を主体とした積極的な活動の充実に努める。
- (5) 各構成団体との連携の強化に努め、その協力の下、共働して効率的な事業推進を図る。
- (6) 広報活動の充実に図り、まちづくりの情報を校区住民が共有するように努めることで、諸事業・活動への住民の参画意識を高める。

5 校区コミュニティ協議会の組織体系



	まちづくり部会	安安全全部会	社会体育部会	青少年育成部会
活動方針	地域のよさや課題、住民の思いや願いを生かし、生涯学習に取り組む活力あるまちづくり	防災意識の向上や犯罪の未然防止など、共に助け合う安心安全なまちづくり	地域住民の健康増進のため、運動の習慣化や運動する機会の提供を図ることで、笑顔と元気のあふれるまちづくり	青少年の健全育成を通して、共に学び共に生きる豊かな心を育むまちづくり
主な活動	<ul style="list-style-type: none"> * 各部会の連絡調整 * 諸問題への対応 * 校区活性化事業の計画・推進 * 文化的行事への参加協力 * 成人・女性・老人部活性化活動 * 広報・渉外 * 宮小・吉田支所等関係機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> * 諸問題への対応 * 防火・防災活動 * 防災安全に関する研修会計画実施 * 防犯活動 * 交通安全活動 * 危険箇所点検 * 吉田交番との連携 	<ul style="list-style-type: none"> * 諸問題への対応 * 体育的行事の計画・推進 * 吉田地域の体育行事への参加促進 * 健康増進の啓発 * 宮小体育部との連携・協力 	<ul style="list-style-type: none"> * 諸問題への対応 * 各社会教育学級への支援 * ふれあい・体験活動の計画・推進 * あいさつ・声かけ運動の推進 * 夜間補導見まわり活動の計画実施 * 児童クラブ・あいご会との連携 * 宮小・吉田南中・交番との連携
主な構成団体	<ul style="list-style-type: none"> ・各公民館長 ・女性部 ・成人学級 ・女性学級 ・宮校区社会福祉協議会 ・老人クラブ ・子ども食堂『宮っ子』 	<ul style="list-style-type: none"> ・各公民館 ・アドバイザー ・宮小PTA ・吉田交番 ・安心安全ネットワークショップ ・スクールガード ・青パト ・鹿児島市消防団宮分団 ・新日本科学 	<ul style="list-style-type: none"> ・各公民館長 ・宮小PTA ・吉田南中PTA ・体育指導員 ・校区体育部 ・学校施設開放運営協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・各公民館長 ・児童委員 ・宮小PTA ・学校後援会 ・吉田南中PTA ・吉田交番 ・子育てサロン ・子ども食堂 ・あいご会 ・児童クラブ ・民生委員
	部長 (窪 和也) 副部長 (徳田 一)	部長 (大重 卓造) 副部長 (迫 寛敏)	部長 (窪園 正俊) 副部長 (谷山 隆徳)	部長 (米森 清信) 副部長 (北園 順子)

6 校区コミュニティ協議会及び構成団体の現在の活動

宮校区では、公民館加入者の減少、高齢者の増加、子供の減少、役員になり手がいない、隣近所との関係が希薄になってきているなどの問題を抱えつつも宮小学校を核にして、「将来子供たちが帰って来たい地域」になるように町内会（公民館）をはじめ各団体が活動を行っている

4月
宮校区コミュニティ協議会総会



4月 牧神様お祭り
牟礼谷公民館

宮校区子育てサロン
毎月第2金曜日
宮校区コミュニティ
センターにて開催
(この回は、クリスマスリース作り)

みんなニコニコあいさつ運動
毎月月初めの登校日



5月
宮校区社会福祉協議会総会

アドバイザー会議 (年2回開催)



成人学級は年10回、女性学級年14回開催
(西警察署から講師による消費者学習の様子)



桜通り・宮校区コミュニティセンター草払い
宮小学校のPTAや地域住民で協力して年3回実施



6月 安心安全ネットワーク会議 (6月・3月)
宮小学校体育館



7月 鬼子母神社六月灯



子ども食堂「宮っ子」
吉水公民館 毎月第3土曜日



宮小学校マスコット 平山陽一さん作



9月 グラウンドゴルフ大会
宮東公民館



9月 十五夜
吉水公民館

9月 宮小学校大運動会

10月 地域スポーツ大会



9月 敬老記念品配布



11月 校区グラウンドゴルフ大会

11月 グラウンドゴルフ大会
宮西公民館・吉水公民館



令和5年宮小学校 学習発表会 (棒踊り)



校区まち歩き ごみ拾い会 11月・3月開催
(阿弥陀堂 吉水)



12月 宮小学校門松作り



12月 宮小学校収穫祭



12月 鬼火焚き準備



1月7日 鬼火焚き



2月祭り 宮西公民館・吉水公民館

7 各部会から見た現状と課題

事務局

- ☆ 校区コミュニティセンターで、月・水・金曜日の13時～18時まで事務所を開設している。多くの地域住民に来て頂き、まちづくりの拠点になるように今まで以上に行きやすい事務所作りに取り組む。
- ☆ 広報活動（コミュニティ便り「宮の風」）を充実させる。Facebook（宮校区コミュニティ協議会）等で発信し若い世代にコミュニティ協議会に関心を持ってもらえるようにする。
- ☆ 予算の効率的な活用に努め、各団体の活動の活性化に生かす。

まちづくり部会

- ☆ 高齢化が進み、公民館加入世帯の自然減に歯止めがかからず、公民館加入者世帯も50パーセントをきるような状況である。いかにして公民館加入促進を図るかが最大の課題であり、魅力ある公民館にしていくかが問われている。
- ☆ 役員の高齢化も進み、次の時代を担う年齢世代が少なく、現在70歳くらいまでほとんどは仕事を持っている状況の中で役員のなり手がいない。行事等の参加者も少なくなってきた。魅力ある行事に変えていくことも必要なことである。
- ☆ 高齢化が進み、各集落で行われているふれあいサロンの充実が大切になってくる。

安心安全部会

- ☆ 吉田インターがあり、市街地にも近いということで犯罪が増加傾向にある。
- ☆ 県道16号線及び25号線は、通勤通学時の交通量が多く大変危険な状態である。それに加えて、県道25号線から新日本科学までの倉谷線も大変危険な状態である。
- ☆ 一人暮らしの高齢者が増えていくことが予想され、何らかの対策が必要である。
- ☆ 空き家・空き地がだんだん増えていく傾向にある。
- ☆ 青パト4台に青パト隊員が7名で校区内をパトロールしているが、隊員の高齢化が進み、後任の人材の確保も課題である。
- ☆ みんなニコニコあいさつ運動を令和4年7月から開始し、安心安全なまちづくりを目指している。住民に如何に浸透させていくかが課題である。

社会体育部会

- ☆ 少子化の影響で子供の確保が難しく公民館対抗の種目や地域運動会の種目などの人選がますます大変になる。
- ☆ 時代の流れに伴い、行事の参加者が減少してきている。
- ☆ 吉田地域スポーツ大会や校区グラウンドゴルフ大会などの種目も誰でも参加できるニュースポーツなどに変更する必要がある。
- ☆ 体育部員等役員を見つけるのが難しい。
- ☆ まちづくりは、健康づくりの観点から、誰でも出来るメンテナンス体操・ボッチャ等を推進する必要がある。

青少年育成部会

- ☆ 子どもが主体的に活動できる行事を進める必要がある。
- ☆ 子どもに親の関心が低いような気がする。一生懸命する人がいる反面関心の低い親も多い。
- ☆ みんなニコニコあいさつ運動がまだまだ広がり足りない。地域の方々と子供たちのつながりを深める手助けになるように広げていきたい。

8 校区コミュニティプラン (2024～2028)

【事務局】

基本方針	事業名	事業内容	事業効果	事業スケジュール					新規 / 継続	備考
				2024	2025	2026	2027	2028		
校区民総参加による住民主体の潤いと活力ある住みよいまちづくり	1 役員会の開催	コミュニティセンターで、年6回事務局、部会長及び委員出席の役員会を開催する。	事務局からの連絡、部会活動の現状把握の機会とし、部会活動の活性化に役立てる	○	○	○	○	○	継続	
	2 コミュニティ協議会便りの発行	年4回広報誌を発行し、協議会からのお知らせや活動状況をお知らせする	コミュニティ協議会や各公民館の活動を知らせることが出来る参加意欲の高揚に繋げる	○	○	○	○	○	継続	
校区民総参加による住民主体の潤いと活力ある住みよいまちづくり	3 協議会事務所の校区コミュニティの拠点化	コミュニティ協議会設置を広報し、校区民がいつでも来れるようにする	校区民の声、意見・要望等を聞きコミュニティ協議会の活動に生かすことができる	○	○	○	○	○	継続	
	4 まち歩きの実施	校区内を危険箇所やエツクも兼ねて、ゴミを拾いながらまち歩きをする。未加入者にも参加を呼びかける。	綺麗なまちづくりは安全につながる。地域を知ることは、地域に愛着がわく。未加入者の参加により公民館加入者の増加になる	○	○	○	○	○	継続	
5 公民館長連絡会	8集落の公民館長の連絡会を年2回開催する		各公民館が抱えている問題について、話し合うことで解決の糸口を見つける	○	○	○	○	○	新規	
6 自治公民館との連携	町内会への配布物の配布や、回収物を事務所に届けるシステム		町内会長さんと1対1で話す機会となり町内会の状況を知る機会になる	○	○	○	○	○	継続	

【まちづくり部会】

基本方針	事業名	事業内容	事業効果	事業スケジュール					新規 / 継続	備考
				2024	2025	2026	2027	2028		
地域のよさや課題住民の思いや願いを生かし、生涯学習に取り組みむ活力あるまちづくり	1 宮校区文化祭	校区の敬老会の時、宮小体育館にて展示及び舞台発表を行う	生涯学習を通して実践した成果を発表し、校区文化の向上とふさととづくりで寄与する	○	○	○	○	○	継続	
	2 宮校区研修視察	年1回、校区の役員、成人・女性学級の会員が研修旅行を実施する	まちづくりについての勉強になるとともに、校区の親睦を深めることにつながる	○	○	○	○	○	継続	
地域のよさや課題住民の思いや願いを生かし、生涯学習に取り組みむ活力あるまちづくり	3 地域公民館との連携	社会学級、女性学級、成人学級の開設	身近な生涯学習の機会として社会学級を開設し、学んだ成果を地域づくりに役立てる	○	○	○	○	○	継続	
	4 自治公民館活動の支援	自治公民館が行う行事への協力や参加の呼びかけをなど支援を行う 牧神様・倉谷グラウンドゴルフ場等の草払い等 人手の少ない公民館の応援を行う	校区を挙げて支援することで町内会活動の活性化につなげる	○	○	○	○	○	継続	
5 高齢者の見守り活動	高齢者の見守り活動	各集落それぞれに、アドバイザーが80歳以上の一人暮らしの高齢者の見守りを行う。	高齢者の孤立を防ぐ	○	○	○	○	○	継続	
6 アドバイザー会議	アドバイザー会議	高齢者見守りを行うアドバイザーの方々の研修と意見交換会を行う	アドバイザーの不安や疑問の解消につなげる	○	○	○	○	○	継続	
7 高齢者ふれあいサロン	高齢者ふれあいサロン	各集落毎に、サロンを開催し高齢者の親睦を図る	高齢者の孤立を防ぎ、会員同士の親睦を深める	○	○	○	○	○	継続	

番号	基本方針	事業名	事業内容	事業効果	事業スケジュール				新規 / 継続	備考	
					2024	2025	2026	2027			2028
8	地域のよさや課題住民の思いや願いを生かし、生涯学習に取り組む活力あるまちづくり	子育てサロン	毎月第2金曜日宮コミュニティセンターで乳幼児とその保護者を対象にサロンを開設する	保護者の仲間作りと情報提供と楽しい場を提供することができる	○	○	○	○	○	継続	
9		宮校区敬老会	宮小学校体育館で、70歳以上の高齢者を対象に敬老会を開催するか、敬老記念品を配布する	子供から高齢者までふれあいをを行い親睦を図り、高齢者に感謝の気持ち伝える	○	○	○	○	○	継続	
10		グラウンドゴルフ同好会	倉谷グラウンドゴルフ場で毎週2回グラウンドゴルフを行う	高齢者の健康増進が図られるとともに、仲間作りができる	○	○	○	○	○	継続	
11		牧神様のお祭り	毎年4月に牧神様のお祭りを牟礼谷公民館が開催する	伝統の行事を継承していくと共に、集落の親睦を図ることができる	○	○	○	○	○	継続	
12		棒踊り	宮小学校の学習発表会で披露する。		○	○	○	○	○	継続	
13		六月灯	毎年7月に鬼子母神社で六月灯を開催する	子供たちに伝統行事を楽しんでもらうとともに、親睦を図ることができる	○	○	○	○	○	継続	
14		十五夜	鬼子母神社で十五夜の行事を開催する		○	○	○	○	○	継続	
15		子ども食堂『宮っ子』	毎月第3土曜日、吉水公民館で子ども食堂を開催する。	子供から、お父さんお母さん、高齢者の方々が参加し地域の親睦と世代間の交流になる。まちづくり、居場所づくりになる	○	○	○	○	○	継続	

【安心・安全部会】

番号	基本方針	事業名	事業内容	事業効果	事業スケジュール				新規 / 継続	備考		
					2024	2025	2026	2027			2028	
1	防災意識の向上や犯罪の未然防止など、共に助け合う安心安全なまちづくり	関係団体・機関との情報交換会	年3回、安心安全ネットワーク会議を開催するとともに校区内の危険箇所を調査する	関係団体の情報交換により、地域の防火防犯防災に関する課題の共有及び具体的な取り組みが明確になる	○	○	○	○	○	継続		
2		防犯パトロール	青パトによる校区内のパトロールを行う	校区内の犯罪や声かけの抑止力になるとともに校区民とのコミュニケーションになる	○	○	○	○	○	継続		
3		登下校の見守り	青パト隊を中心に見守りを行い、地域の方々には下校時に散歩をするなどして見守る。	校区で子供を守る体制作りと、子供たちとのコミュニケーションにもなり子供たちとの人間関係を知る機会になる	○	○	○	○	○	継続		
4		危険箇所マップの作成	宮小学校と連携してマップを作る		○	○	○	○	○	継続		
5		危険箇所	まち歩きの時注意して危険箇所チェックを行う		安全意識の高場とともに、かねて見過ごしていた地域を意識して見るようになる	○	○	○	○	○	継続	
6		暗がりチェックの実施	夜間の行事や会合等の機会にチェックする			○	○	○	○	○	継続	

【社会体育部会】

番号	基本方針	事業名	事業内容	事業効果	事業スケジュール					新規 / 継続	備考			
					2024	2025	2026	2027	2028					
1	地域住民の健康増進のため、運動の習慣化や運動する機会の提供を図ること、笑顔と元気のあふれるまちづくり	吉田地域ソフトバレーボール大会	吉田地域のソフトバレーボール大会に参加する	他校区との交流を深め、吉田地域5校区が競うことで、校区の結束力を高めると共に、地域の一員としての自覚を高める	○	○	○	○	○	○	○	○		
2		吉田地域ソフトボール大会	吉田地域のソフトボール大会に参加する		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3		吉田地域グラウンドゴルフ大会	吉田地域のグラウンドゴルフ大会に参加する		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4		吉田地域運動会	吉田地域運動会に参加する		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5		校区合同運動会	宮校区コミュニティ協議会と宮小学校の合同の運動会を開催する		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6		運動会門作り	宮小学校の運動会の正門前の門を学校と共同で作す		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7		校区グラウンドゴルフ大会	小学生から高齢者までチームに分かれてグラウンドゴルフ大会を開催する		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【青少年育成部会】

番号	基本方針	事業名	事業内容	事業効果	事業スケジュール					新規 / 継続	備考		
					2024	2025	2026	2027	2028				
1	青少年の健全育成を通して、共に学び共に生きる豊かな心を育むまちづくり	牧神様遠行	あいご会主催で牧神様に登山する	あいご会が、子供と親だけの会ではなく地域のみんなもあいご会の会員であるということが浸透してゆく	○	○	○	○	○	○	○	○	
2		宮小のこめ作りへの支援	宮小の子供たちが田植え・稲刈りを体験する 学校ボランティアとして協力する	子供たちに田植えの体験を通して、こめ作りを理解してもらう	○	○	○	○	○	○	○	○	
3		収穫祭	宮小で、餅つきや焼き芋作りをする 学校ボランティアとして協力する	子供たちに、杵と臼を使った餅つきを体験させ、地域の方々の親睦を深める	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4		鬼火焚き	あいご会・校区社協の共催で鬼火焚きを開催する	伝行事の鬼火焚きを継承するとともに、子供から高齢者まで親睦を図る	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5		あいご会研修会	年1回あいご会の研修会を開催する	子供を持つ親だけでなく「あいご会」の大きな趣旨である地域ぐるみによる取組が前進し、青少年の健やかな育成が図られる	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6		みんなニコニコあいさつ運動	月に1回、地域の方々から挨拶運動のワッペンを付けて子供たちに挨拶をする。	子供たちと校区民のコミュニケーションの機会となると共に、安心安全なまちづくりにつながる	○	○	○	○	○	○	○	○	○

9 資料

プラン策定の経緯

第1回プラン策定委員会	R5年 7月12日	コミュニティプラン策定の手順について
第2回プラン策定委員会	R5年10月 4日	部会及び公民館の課題について
第3回プラン策定委員会	R5年10月25日	コミュニティプランに掲載する写真撮影
第4回プラン策定委員会	R6年1月31日	最終原稿確認

プラン策定委員会委員

委員長	米留 健一	コミュニティ協議会 会長
副委員長	高野 忠	コミュニティ協議会 副会長
委員	窪 和也	まちづくり部部长
	大重 卓造	安心安全部部长
	窪園 正俊	社会体育部部长
	北園 順子	青少年育成副部长
	徳田 一	倉谷公民館長
	平田 和弘	牟礼谷公民館長
	柿原 譲司	前迫団地公民館長
	野添 正人	平野公民館長
	拔元 稔	上河原公民館長
	窪 三智子	事務局職員

宮校区コミュニティ



吉水

牟礼谷

宮東

宮西

前迫団地

平野

倉谷

上河原